

第9回 かぬまかるた大会

参加者募集！　かるたで あそぼう

昔から伝わるかるた。市内にもたくさんのかるたがあります。
子どもたちが鹿沼の昔ばなしを知り、家族で話すきっかけ作りとして、「鹿沼のむかし話カルタ」「粟野かるた」を使った「かぬまかるた大会」を開催します。



（絵）さつきが丘小学校５年　大塚結愛さんの作品「鹿沼かるた」
令和８年度 鹿沼市子ども会連合会絵画展「わたしの鹿沼じまん」奨励賞受賞



昨年の参加者

【と　き】　令和９年１月16日（土）午後１時30分～4時（受付 午後１時～）

【ところ】　TKC いちごアリーナ 多目的室（鹿沼市総合体育館・鹿沼市下石川 694-1）

【主　催】　鹿沼市社会教育委員の会　**【協賛】**上都賀農業協同組合（JA かみつが）

【対　象】　市内在住・在学の小学生
個人戦・団体戦（3名１組）※両方への参加もできます。
どちらも学年によって３つの部に分かれて試合をします。
低学年の部（1・2年生）・中学年の部（3・4年生）・高学年の部（5・6年生）

【参加費】　無料　　１位～3位に賞品、全員に参加賞があります。

【注意事項】当日、発熱があるなど体調がすぐれない場合は、参加を見合わせてください。
インフルエンザ等の状況により、開催内容を変更または中止する場合があります。

参加申し込みはこちらから

① 右の二次元コードを読み取る
② 申込フォームに入力して送信
③ 受付完了メールが届いたら完了！

締切 **令和８年12月25日（金）**

※市ホームページで「かぬまかるた大会」と検索すると詳細ページが確認できます。

参加申込フォーム

■問い合わせ先
鹿沼市社会教育委員の会 事務局
（鹿沼市教育委員会事務局 生涯学習課内）
鹿沼市文化橋町1982-18
市民情報センター4階
TEL 63-3498

■緊急連絡先
1月15日(金)～16日(土)の期間、
問い合わせや欠場の連絡は
臨時電話 080-1033-4456 へ
（これ以外の期間は使えません）

「鹿沼のむかし話カルタ」全札の一覧と解説

『鹿沼のむかし話カルタ』

監修●小杉義雄
絵●箕輪行信

発刊のことば

私たちのふるさと鹿沼には、むかしからいい伝えられてきたむかし話がたくさんあります。
私は、それらの話を知るお年寄りをたずねて聞きあつめ、『鹿沼のむかし話』という本にまとめました。この本は栃木放送で朗読されたり、ＴＢＳテレビまんが日本昔ばなしの中で（半正月）が放映されたりもしました。
その中には、キツネにだまされた話やなまけ者の話、天狗や河童の話など、いろいろな話がありました。そういう話を鹿沼市に住むみなさんに知ってほしいと思い、このカルタを作りました。
お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんとカルタとりをしながら、むかしから伝わるいろいろなことを聞いてみてください。
鹿沼のむかし話をくわしく知りたい人は、学校や市の図書館から本を借りて読むことをおすすめします。

鹿沼のむかし話を集める会長　小杉義雄

※●は「鹿沼のむかし話」の題名、【　】は地名

(あ) アンバ様　みこしにのって　板荷をまわる　●アンバ様【板荷】
(い) いなきが　判官塚に　かなしくひびく　●大納言の馬【北赤塚】
(う) 乳母のおん　しのんでおがむ　羅漢様　●姥母石【樅山】
(え) 縁あればまた来るからと　猫の絵のこし　旅の人　●墨絵の猫【草久】
(お) 幼子に　つきせぬ思い　夜泣き石　●おとこみ坂の夜泣き石【家間】
(か) 河の主　とらえてたたる　三河淵　●三河淵の鰐【板荷】
(き) 木の股の　地蔵にこもる　母の愛　●木の股地蔵【西沢】
(く) 黒髪山を　たずねてまよう　役の行者と天狗　●役の行者と天狗【古峯原】
(け) けさもまた　河原で　ガマとイタチの大げんか　●ガマとイタチの大げんか【貝島】
(こ) 子はだれも　国の宝と　はしか和尚　●はしか和尚【西沢】
(さ) 酒野谷の　とらごの淵のいわれつたえる　●とらご淵【酒野谷】
(し) 勝道が　修行をつんだ　巴の宿　●深山巴の宿【古峯原高原】
(す) 杉の木の　ほこらにまつる　子宝の石　●二夜様【花岡】
(せ) 蝉が淵　白蛇まつる　いなり様　●蝉が淵の白蛇【末広町】
(そ) 底力　河童をまかした　ごうけつ主膳　●主膳と河童【北赤塚】
(た) 大切な水　いまもわき出る　お助けの水　●弘法お助けの水【草久】
(ち) 稚児沼につたわる　乳にまつわる　沼の水　●稚児沼【上石川】
(つ) 筑波峯で　わざをみがいた　次郎作天狗　●次郎作天狗【酒野谷】
(て) 天狗たち　さかずき交す　酒野谷の水　●酒の泉【酒野谷】
(と) 栃窪の　おどうにまつる　薬師如来　●木喰薬師【栃窪】
(な) 泣けば勝ち　元気にそだてと　泣き相撲　●泣き相撲【樅山】
(に) 仁神堂の　糠塚山の　蛇娘　●糠塚山の蛇娘【仁神堂】
(ぬ) 沼の石　ボコボコうなる　生子淵　●生子淵【加園】
(ね) ねたまれた　娘をまつる　オイノ弁天　●オイノ弁天【上殿】
(の) 野っ原で　地主にされた　ほらふき男　●坊主狐【日向】
(ひ) 秀郷が　つるぎささげた　押原神社　●大三輪の神【上殿】
(ふ) 藤つるをあんで　橋をつくれと　旅の僧　●お藤観音【上石川】
(へ) 弁天をだいじにせよと　夢まくらに立つ女神様　●富島弁財天（文化橋町）
(ほ) ボンボコと　沼にしずんだ　わがまま領主　●ボンボコ溜【茂呂】
(ま) 満月の　すすきの河原に　笛の音ひびく　●笛吹き河原【見野】
(み) 峯の薬師に　いのればなおる　目の病　●峯の薬師【日向】
(む) 娘子の　うらみつたえる　六兵衛屋敷　●六兵衛屋敷【板荷】
(め) 目ざめれば　向きをかえてる　北向き地蔵　●北向き地蔵【西沢】
(も) 茂呂山の　がっから様の　大わらい　●がっから様【茂呂】
(や) 山おくで　天狗が見せる　歌舞伎の踊り　●紙帳ずりの天狗の踊り【草久】
(ゆ) 夢に見た　母をたずねて　鹿沼の城に　●さつき地蔵【三幸町】
(よ) よいことは　二と三とある　古峯参り　●ヤモとウサギと山イモと【西大芦】
(ら) 雷様も　おそれてさげる　雷の神　●雷の神【畑田】
(り) 竜神に　水ごいねがい　わきだす泉　●竜神の水【茂呂】
(る) るり色の　鳥がまいとぶ　巣帰りの水　●巣帰りの水【茂呂】
(れ) 霊泉で　百人力の　独鈷水　●弘法独鈷水【加園】
(ろ) ろばたの火　かこんで聞いた　大太法師の話　●大太法師の足跡【石裂・栃窪】
(わ) 我が身より　人のためにと　橋つくる　●河五郎渡土【石裂】

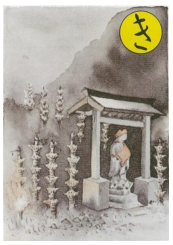
大会では「粟野かるた」の札８枚も使います



医王寺の
鐘のひびきよ
せみしぐれ
【清洲】



雷も
こうべを下げる
録事尊
【粕尾】



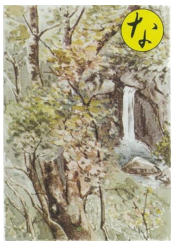
久分地蔵と
百八燈
【永野】



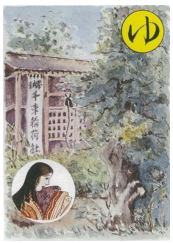
強飯式
妙見神社の
文化財
【粕尾】



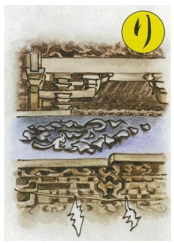
天下一
関白獅子舞
久野の里
【清洲】



永野水源
釜が渕
【永野】



ゆかしさと
悲しき稲荷
千束姫
【粟野】



りす遊ぶ
遙拝殿の
透かし彫り
【粟野】



粟野かるた

■「粟野かるた」について

昔話だけでなく、さまざまな題材が盛り込まれたかるたです。今回の大会では、「粟野かるた」の中から昔話・歴史の札８枚（4地区から２枚ずつ）を選び、「鹿沼のむかし話カルタ」と混ぜて使います。

■「粟野かるた」発刊に寄せて

私たちのふるさとを見つめ直そう、という趣旨のもとに、郷土の民俗文化財、民話、伝説、歴史、自然、町の特色、象徴等を読みこんだ作品を町内から公募し、多くの町民の方々のご協力によりこの「粟野かるた」を発刊いたしました。ここに読まれている作品は町内に多数ある文化財等の中から、地域的なバランスを考慮して制作したものです。この「粟野かるた」が広く町民に愛され、活用されることによって、私たちのふるさとを知り、見直し、さらに豊かな郷土づくりに役立たせていただければ幸いです。

昭和53年12月　粟野かるた作成委員会委員長・粟野町長　落合忠太郎　／
絵札絵付制作　松本耕治・沢村幸一・池問英治　／　解説　粟野かるた作成委員会



鹿沼のむかし話カルタ

■練習用の札の貸し出し

「鹿沼のむかし話カルタ」「粟野かるた（８枚・複製）」を貸し出します。市生涯学習課にお問い合わせください。※数に限りがあります。